



平成28年5月20日

北陸地方整備局  
飯豊山系砂防事務所

記者発表資料  
同時発表記者クラブ  
・山形県記者クラブ  
・新潟県記者クラブ

## テック 熊本地震TEC活動報告会を開催します

北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所は、熊本県内で発生した「平成28年熊本地震」の被災地にTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として3名を派遣しました。

この度、TEC-FORCEとして派遣された事務所職員による活動内容の報告会を開催します。

1 日 時：平成28年5月26日（木）

16:00～17:00（60分程度）

2 場 所：飯豊山系砂防事務所 1階 会議室

（山形県西置賜郡小国町小国小坂町三丁目48番地）

3 内 容：TEC-FORCE派遣隊員報告

1）土砂災害対策アドバイザーの活動報告

調査課長 よしだ かつみ  
吉田 克美

2）河川被災状況調査の活動報告

工務課専門官 おおや かずひろ  
大矢 和洋

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所  
副所長（技術） 石田 正樹（いしだ まさき）  
調査課長 吉田 克美（よしだ かつみ）  
電話：0238-62-2566（代表）

# 会場位置



詳細位置図



※乗用車でお越しの際には事務所構内の駐車場をご利用ください。

## ○飯豊山系砂防事務所による『平成28年熊本地震』におけるTEC-FORCE 派遣の概要

### 【派遣期間】

①平成28年4月22日～28日（土砂災害対策アドバイザー）

②平成28年4月28日～5月5日（河川被災状況調査）

### 【実施内容】

①土砂災害対策アドバイザー。職員1名が、各自治体からの土砂災害に関する問い合わせへの助言及び熊本県から要請のあった阿蘇大橋地区の行方不明者捜索に関し、消防・警察等が安全に作業できるよう地震後の降雨後の斜面の状態等について助言を行いました。

②河川被災状況調査。職員2名が、熊本県阿蘇市が管理する河川の被災状況の調査を実施しました。



出発式（飯豊山系砂防事務所）



河川施設状況調査



行方不明者捜索現場での関係機関打合せ



南阿蘇村副村長との打合せ



# TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) とは

- ・ TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) とは、被災した地方公共団体等の災害対応を支援する、国土交通省の組織です。
- ・ TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、地方自治体からの要請に基づき迅速に出動し、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行うものです。

## ◆TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の創設

※ 平成20年5月創設

- 地震、水害・土砂災害等から **国民の生命と財産を守ることは国の基本的責務**です。
- 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、**人員・資機材の派遣体制等の充実**を図り、危機管理体制を強化することを目的としています。

### 従来

- 国による緊急支援は**その都度**体制をとって対応。

### 現行

- あらかじめ職員をTEC-FORCE隊員として任命するなど、**事前に**人員・資機材の派遣体制を整備し、迅速な活動を実施します。

### 活動内容

- 被災状況の迅速な把握
- 社会基盤施設の早期復旧
- 二次災害の防止



## ◆TEC-FORCE の班編制と活動内容

### □リエゾン班

被災直後から、先行的に被災自治体へ派遣し、被災状況や被災自治体の支援ニーズを把握し、整備局等の災害対策本部に伝達するほか、整備局からの情報提供を行う等自治体の早期復旧を支援します。

リエゾン (現地情報連絡員)

※リエゾン (liaison) : フランス語で「組織間の連絡、連携」

### □先遣班

被災状況をいち早く把握するために、ヘリコプターや車両により、先行的に調査し、応援・支援の必要性や規模を把握のうえ、派遣元の地整へ報告します。

### □現地支援班

現地の緊急災害対策各班及び被災地整等災害対策本部との連絡調整、災害情報、応急対策活動状況等の情報収集、現地支援センターとしての被災地の支援ニーズの把握等をおこないます。

### □情報通信班

衛星通信車、Ku-SAT II (衛星小型画像伝送装置)、照準車を派遣して、被災状況の映像を配信します。

### □高度技術指導班

河川、砂防、海岸、道路、港湾等の所管施設について、特異な被災事例等に対する技術指導、被災施設等の応急措置及び復旧方針樹立の指導をおこないます。

### □被災状況調査班

(災害対策用ヘリ)

災害対策用ヘリにより、被災状況を把握します。

(現地調査班)

踏査等により、河川、砂防、海岸、道路、港湾等の所管施設の被災状況を調査します。

### □応急対策班

湛水箇所のポンプ排水、二次災害の危険がある箇所の土砂の撤去や応急仮締め切り、応急組立橋や資材を用いた迂回路の設置等をおこないます。